

H. sapiens由来の亜硫酸塩オキシダーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1229

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 亜硫酸オキシダーゼ (EC 1.8.3.1) は、すべての真核生物のミトコンドリアに存在する酵素です。[citation needed] それは亜硫酸を硫酸に酸化し、シトクロムcを介して生成された電子を電子伝達系に移動させ、酸化的リン酸化におけるATPの生成を可能にします。これは硫黄含有化合物の代謝における最後のステップであり、硫酸は排泄されます。亜硫酸オキシダーゼは、モリブデンピリチン補因子とヘム基を利用する金属酵素です。これはシトクロムb5の一つであり、DMSO還元酵素、キサンチンオキシダーゼ、亜硝酸還元酵素を含むモリブデンオキソトランスフェラーゼの酵素スーパーファミリーに属します。

別名 亜硫酸塩オキシダーゼ; EC 1.8.3.1; 9029-38-3

製品情報

種	H. sapiens
由来	E. coli
形態	3.2 M 硫酸アンモニウムで供給されます
EC番号	EC 1.8.3.1
CAS登録番号	9029-38-3
分子量	approx. 50000 Da
純度	> SDS-PAGEによって判断された95%
活性	0.5 U/mg
濃度	1.0 U/ml
最適pH	8.5
最適温度	25°C
単位定義	1単位は、25 °CおよびpH 8.5の条件下で、最初の反応で生成された過酸化水素がNADHの存在下でNADH-ペルオキシダーゼによって還元される連結アッセイにおいて、1.0μmolの亜硫酸塩を硫酸塩に酸化するのに必要な酵素の量として定義されます。

使用法とパッケージング

調製方法 使用前に酵素沈殿を完全に均一化するために、バイアルを十分に振とうしてください。

保管・発送情報

保存方法 4°Cで保管してください (常温で発送されます)